

【目次】「社会福祉の歴史——地域と世界から読み解く」

はしがき

第1章 前近代の社会福祉 ————— 1

- 1 古代・中世の救済 1
(1) 原始・古代の福祉 (2) 中世の福祉
- 2 近世の公的救済と地域 7
(1) キリスト教伝来と戦国内乱 (2) 江戸幕府と福祉 (3) 三大改革と封建的
社会政策
- 3 列強の接近と欧米の福祉への関心 15
(1) 内憂外患 (2) 洋学と水戸学の福祉認識 (3) 西洋体験と福祉認識
- コラム1 近世の盲人組織——当道座 23

第2章 明治前半期の社会福祉 ————— 27

- 1 幕末の社会の動揺 27
(1) 社会状況 (2) 幕末期の救済事業
- 2 明治前半期の社会変革と社会問題の萌芽 29
(1) 富国強兵政策 (2) 文明開化と民衆生活の変化 (3) 社会問題の萌芽1
——下層社会 (4) 社会問題の萌芽2——衛生、公娼制度、労働問題、公害問題
- 3 明治前半期の公的救済制度と慈善事業 37
(1) 公的救済制度 (2) 慈善事業、思想・理論
- コラム2 キリスト教と社会福祉——原胤昭、小橋勝之助、石井十次 46

第3章 明治後半期の社会福祉 ————— 50

- 1 明治後半期の社会状況 50

- (1) 国際関係と国内産業の進展 (2) 社会不安——社会主義、戊申詔書と地方改良運動
- 2 明治後半期の社会問題 52
 - (1) 貧困問題 (2) 労働問題——児童と女性 (3) 監獄と非行・犯罪児童問題 (4) 衛生問題——結核・精神障害・傷病兵・ハンセン病
- 3 感化救済事業 66
 - (1) 感化救済事業の展開 (2) 感化救済事業講習会と済生会——民間事業育成と天皇の慈恵 (3) 救済理論——井上友一と小河滋次郎 (4) 慈善事業の組織化と防貧事業——中央慈善協会と「救済事業調査要項」
- コラム 3 地方改良と地方改善 74

第4章 大正期の社会福祉 78

- 1 生活難と社会事業 78
 - (1) 「細民」の階層分化 (2) 社会局の設置 (3) アイデンティティの共有
- 2 社会事業の領域 90
 - (1) 経済保護事業 (2) 地方組織と方面委員 (3) 恤救規則 (4) 児童保護
- 3 社会事業の諸相 105
 - (1) 社会連帯 (2) セツルメント
- コラム 4 ソーシャルワークの形成と日本への導入 112

第5章 戦前・戦中の社会福祉 116

- 1 昭和恐慌から総力戦体制へ 116
 - (1) 社会状況と国民生活 (2) 社会事業の法制化 (3) 社会事業の組織化
- 2 地方の社会事業 126
 - (1) 都市と農村の社会事業 (2) 植民地社会事業
- 3 厚生省の設置と福祉実践 136
 - (1) 厚生省の設置 (2) 法制 (3) 「厚生事業」の提唱
- コラム 5 戦前国家主義者の福祉論 147

第6章 戦後改革・高度成長期の社会福祉 ————— 152

- 1 戦後改革と社会福祉 152
 - (1) 占領下と福祉改革 (2) 福祉三法体制と社会保険（労働・医療）
 - (3) 社会保障の制度設計
- 2 高度成長と福祉国家形成 163
 - (1) 高度成長と生活意識 (2) 福祉六法体制と社会保険の拡充 (3) 地域の戦後社会福祉 (4) 社会福祉の理論状況
- 3 福祉国家から福祉の見直しへ 174
 - (1) 福祉元年 (2) 福祉見直し
- コラム6 ニューディラーと戦後福祉改革——D. ウィルソンを中心にして 181

第7章 グローバル時代の社会福祉 ————— 185

- 1 オイルショックと社会福祉（1970～80年代） 185
 - (1) 高度成長の終結と福祉 (2) 戦後福祉の総決算 (3) マイノリティへの福祉施策 (4) 福祉専門職の育成と社会福祉学
- 2 ポスト冷戦の新自由主義改革と社会福祉（1990年前後～2000年） 192
 - (1) 冷戦の終結と「失われた20年」 (2) 平成の福祉改革 (3) ノーマライゼーションとバリアフリー
- 3 21世紀の社会福祉 197
 - (1) グローバル化とリスク社会 (2) 格差とワーキング・プア (3) 政権交代と震災・原発事故
- コラム7 裁判にみる社会福祉 204

索引